

## 「都市開発とグリーン成長に関する日本・OECD政策フォーラム」 の開催結果について

国土交通省では、経済協力開発機構（OECD）との共催により、ASEAN諸国・国際機関・民間企業・関係機関等が参加する「都市開発とグリーン成長に関する日本・OECD政策フォーラム -TOD等の都市開発に関する日本の経験のアジア都市との共有-」を開催しましたので、結果を以下のとおりお知らせします。なお、本フォーラムは、「東南アジアとの関係強化」を謳うOECD（経済協力開発機構）への日本の加盟50周年を記念するイベントとして開催いたしました。

### 記

1. 日時 : 平成26年10月15日(水)  
※なお、前日14日(火)にOECD主催の専門家会合、翌日16日(木)に都内の都市開発事例の視察を実施。
2. 場所 : 京王プラザホテル
3. 参加者 : 国土交通省 北川副大臣、佐々木国土交通審議官、稲葉国際統括官、栗田大臣官房審議官、古澤大臣官房審議官 ほか  
ASEAN ベトナム建設省副大臣、ミャンマー・ヤンゴン市長をはじめ、各国中央及び地方政府の幹部職員(参加国:ベトナム、ミャンマー、マレーシア、インドネシア、タイ)  
OECD アルター公共管理・地域開発局長(OECD)、ヴィエガス国際交通フォーラム(ITF)事務局長  
民間企業等 設計会社、デベロッパー、ゼネコン、UR等  
国際機関等 JICA、世界銀行、国連人間居住計画、国連地域開発センター等
4. テーマ : アジア都市との公共交通指向型開発(TOD)等の都市開発に関する経験の共有及び持続的発展に向けた協働のあり方
5. 概要 (プログラムは別紙) : OECD及び国土交通省との共催により、成長著しいアジア各国における都市環境課題の克服に向け、OECDが進めるグリーン成長戦略と我が国の公共交通指向型開発(TOD)をはじめとする環境に配慮した多様な都市開発事例やその手法などの経験・ノウハウを共有しました。  
本フォーラムでは、次の3部構成により、講演や意見交換が行われ、最後に議論の成果として議長総括をまとめました。  
なお、参加者は随行者・聴講者を含め、合計約110名の参加がありました。

### 第1部

佐々木国土交通審議官の主催者挨拶及びベトナム建設省リ副大臣の挨拶の後、OECDアルター局長の基調講演が行われました。また、政策対話として、ヤンゴン市(ミャンマー)のフラ・ミン市長をはじめとするアジア各国地方政府からの出席者により、都市のグリーン成長に向けた経験・課題の共有が行われました。

### 第2部

前半のランチセッションでは、日本の都市開発の多彩な実践例について、国土交通省及び民間

企業出席者（設計会社、不動産会社、ゼネコン等）からのプレゼンテーションが行われました。

後半は、日本の経験も踏まえた都市のグリーン成長・TODの実現方策について検討するため、城所哲夫東京大学准教授の進行のもと、有識者及びアジア各国中央政府からの出席者による発表及び討議が行われました。

### 第3部

50周年記念セッションとして、特に国際機関の役割に焦点を当てながら、アジアの都市の持続的発展に向けた協働のあり方を討議しました。

さらに、本フォーラムの議論をとりまとめた「議長総括」が日本・OECDの共同議長によって発表されました。

6. 視察（翌日） 会合の翌日の16日（木）には、内の都市開発事例の視察を実施し、海外からの参加者を中心に約30名の参加がありました。視察先は次の通り。

- 1) 丸の内地区（テーマ：都心のTOD開発・サステナブル開発、案内：三菱地所株式会社）
- 2) 清水建設本社ビル（テーマ：環境・防災対応建築技術、案内：清水建設株式会社）
- 3) 虎ノ門ヒルズ（テーマ：官民連携による市街地再開発、案内：森ビル株式会社）

7. 会合の成果 会合の成果文書として、討議の概要及び出席した各主体が今後進めるべき行動を記した議長総括（Chairs' Summary）が日本・OECDの共同議長によって作成され、参加者と共有されました。

議長総括では、今後さらに日本の都市開発に関する経験をアジア諸国と共有していくことの必要性が示されました。これを踏まえ、国土交通省では、今後、ICTを活用したナレッジ・シェアリング・イベントの開催や、日本の不動産・インフラ開発事例を紹介するシティ・ツアーなどを実施していく予定です。

※ なお、当日の発表資料等については近日中にホームページに掲載予定です。

お問い合わせ先	: 国際政策課（グローバル戦略）、村上、西村
電話	: 03-5253-8111（内線 25204、25216）
	03-5253-8316（夜間直通） 03-5253-1562（FAX）

# 「都市開発とグリーン成長に関する日本・OECD政策フォーラム」プログラム

## 開会挨拶

国土交通省 佐々木基 国土交通審議官  
ベトナム建設省 Phan Thi My Linh 副大臣

## 第1部

### 基調講演

「都市のグリーン成長の概念とアジアの重要性」: OECD ロルフ・アルター公共管理・地域開発局長

### 政策対話: 都市のグリーン成長に向けた経験・課題の共有

進行: 国土交通省 稲葉国際統括官/ITFヴェイガス事務局長

スピーカー(アジア地方政府): 各都市における課題

- ・ミャンマー・ヤンゴン市長 Hla Myint 氏
- ・インドネシア・ジャカルタ特別州知事アドバイザー Aisa Tobing 氏
- ・タイ・バンコク都市圏庁環境局課長 Siriporn Tantivanich 氏
- ・マレーシア・イスカンダル地域開発庁社会開発担当部長 Nor Hisham Hussein 氏
- ・ベトナム・ハイフォン人民委員会計画・投資局課長補佐 Hoang Thi Lien 氏

## 第2部

### 企業プレゼンテーション: 日本の都市開発: 多彩な実践例

進行: 国土交通省 稲葉国際統括官

- ・「日本型都市開発の海外展開について」: 国土交通省 都市局総務課長 神山敬次氏
- ・「日本の駅・まち一体化プロジェクト」: 株式会社日建設計 プロジェクト開発部門副代表・都市デザイン部長 田中互氏
- ・「虎ノ門ヒルズの事業概要」: 森ビル株式会社 企画開発2部担当部長 長尾大介氏
- ・「100年にわたる丸の内のサステイナブル・デベロップメント」: 三菱地所株式会社 開発推進部 副長 西本龍生氏
- ・「柏の葉スマートシティ戦略」: 三井不動産株式会社 柏の葉街づくり推進部部長 加藤智康氏
- ・「強靱でスマートなまちづくりへの取組み」: 清水建設株式会社 ecoBCP事業推進室長 那須原和良氏
- ・「住宅団地再生と震災復興支援業務について」: 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部長 新居田滝人氏

### 官民ラウンドテーブル: 都市のグリーン成長・TODの実現方策

進行: 東京大学 城所哲夫准教授

- ・「日本の都市開発の成功要因」: 国土交通省 都市局都市計画課都市計画調査室長 中村英夫氏
- ・「開発利益還元手法によるTODのファイナンス」: 都市開発専門家/元世銀主席都市専門官 鈴木博明氏

スピーカー(アジア中央政府): アジア各国における取組

- ・ベトナム建設省 都市開発局審議官 Tran Quoc Thai 氏
- ・マレーシア連邦都市・農村計画局 副長官 Zainuddin Ahmad 氏
- ・ミャンマー建設省 人間居住・住宅開発局課長 Mie Mie Tin 氏
- ・タイ内務省 公共事業・都市計画局専門官 Sansanee Srisukri 氏

- ・「TODの視点に立った都市開発～ベトナムの事例から～」: JICA 社会基盤・平和構築部技術審議役 岩間敏之氏

## 第3部

### 50周年記念セッション: アジア都市の持続的発展に向けた協働のあり方

進行: OECD ロルフ・アルター公共管理・地域開発局長

- ・「知識の移転から共有、協働へ: OECDにおけるナレッジ・シェアリング」: OECD ナレッジシェアリングアライアンス Martina Kampmann 氏
- ・「CTを活用した知識共有」: 世界銀行 東京開発ラーニングセンターマネージャー 内藤智之氏
- ・「ハビタットIII会議に向けたアジア太平洋諸都市の協働」: 国際連合人間居住計画(ハビタット)福岡本部本部長 深澤良信氏

### 総括セッション: 東京フォーラム議長総括-今後の展開について-

共同議長: 国土交通省・OECD

## 閉会挨拶

国土交通省 北川イッセイ副大臣